

# Libra | on

vol. 48

りぶらいおん

<http://www.libra-sc.jp>

## 特集：「シネマ・ド・りぶら」アンケート集計

2月4日（日）  
「外国人が日本語の歌を歌う  
のど自慢大会 vol.8」を  
開催しました!!



- りぶら中央図書館情報
- 私の一冊 vol.43 『女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと』
- 「岡崎歴史探求班」連載の2

  
岡崎市図書館交流プラザ

図書館交流プラザ（愛称:Libra）は、「図書館」「活動支援」「文化創造」「交流」の4つの機能で構成されています。りぶらサポータークラブ（LSC）は、Libraの施設活用をサポートする活動をしています。



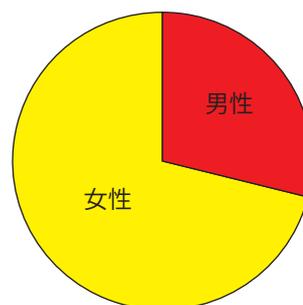
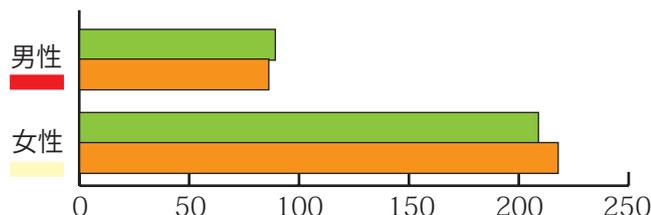
# 「シネマ・ド・リぶら」2017年度アンケート集計

6月と8月に同じ設問を配付し、両日の参加者は1回のみ答えられるようにしました。棒グラフは日にち別の回答者数、円グラフは両日回答者数の合計パーセンテージです。

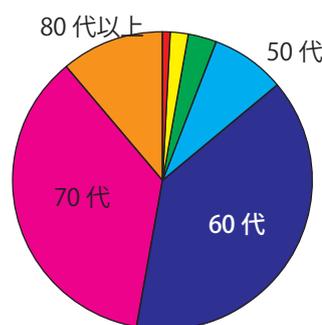
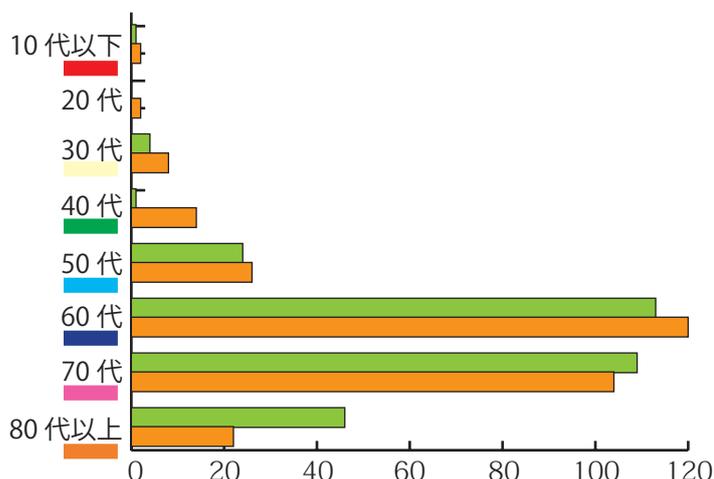
上映日	回答者数	参加者数	上映作品
6月22日	305	331	たそがれの維納
8月24日	340	369	あん
両日参加		156	
合計	645	856	

## 1. あなたについて教えてください。

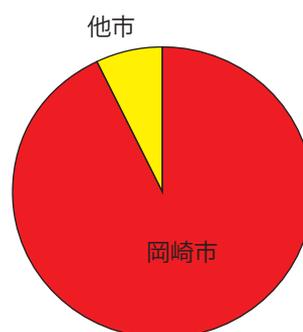
### ① 性別



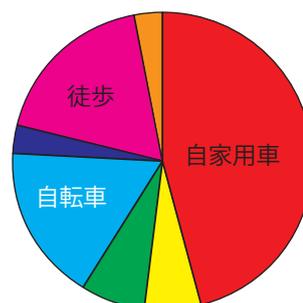
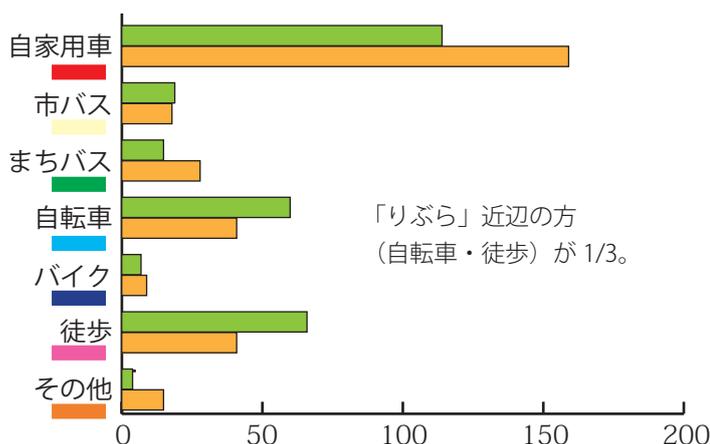
### ② 年齢



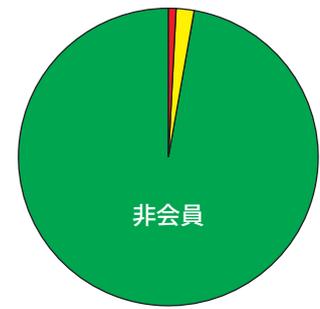
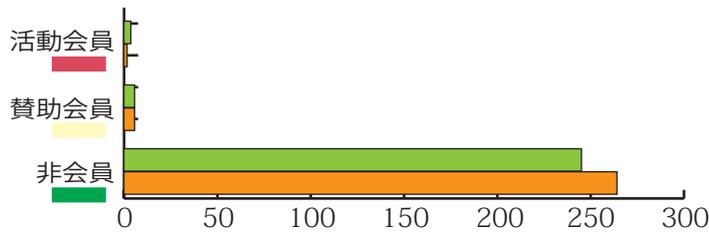
### ③ 居住地域



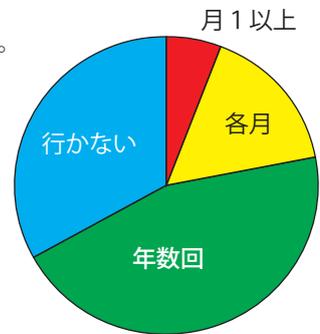
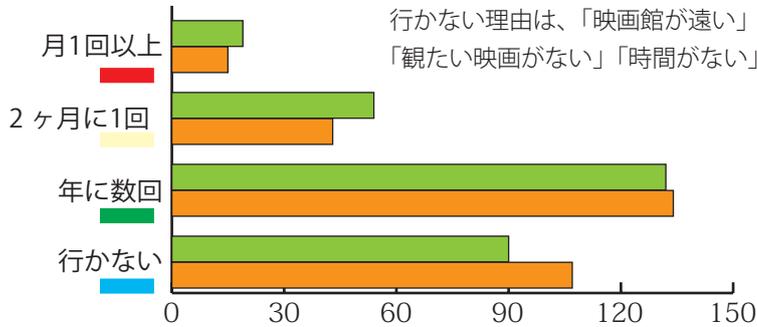
### ④ 交通手段



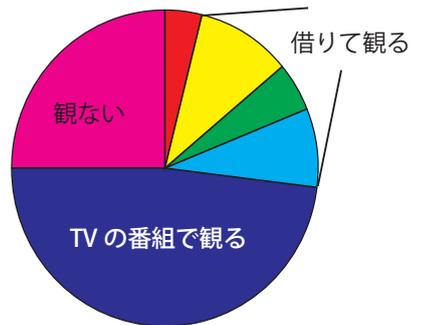
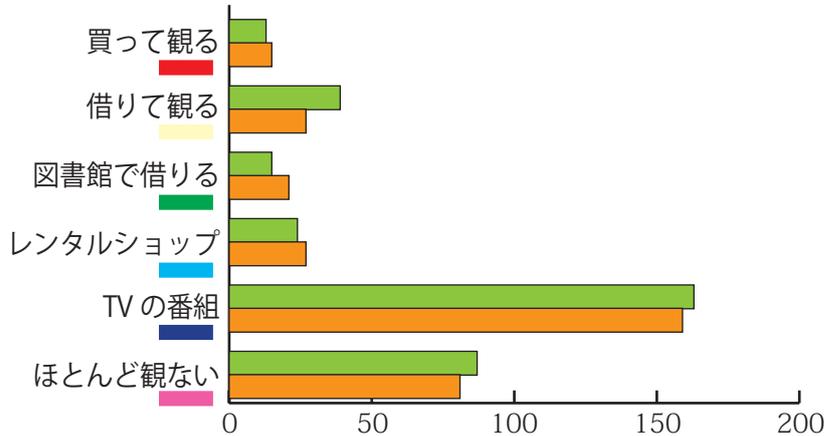
⑤ LSC 会員



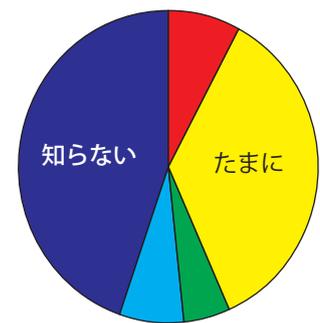
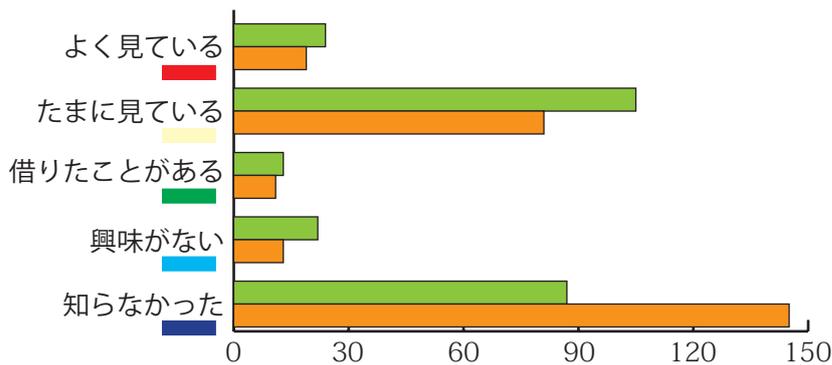
2. 映画館には行きますか？



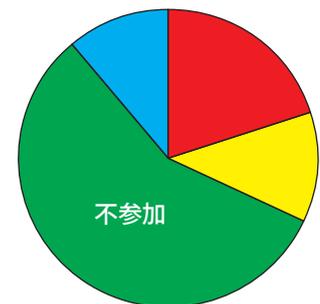
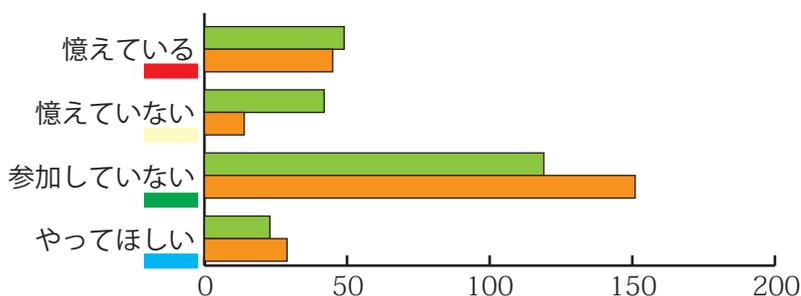
3. DVD もしくはTV 番組で映画を観ますか？



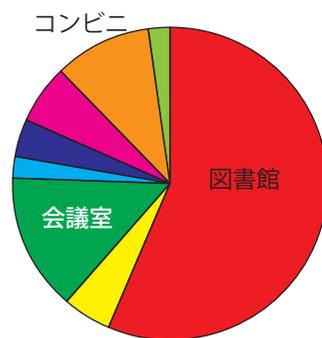
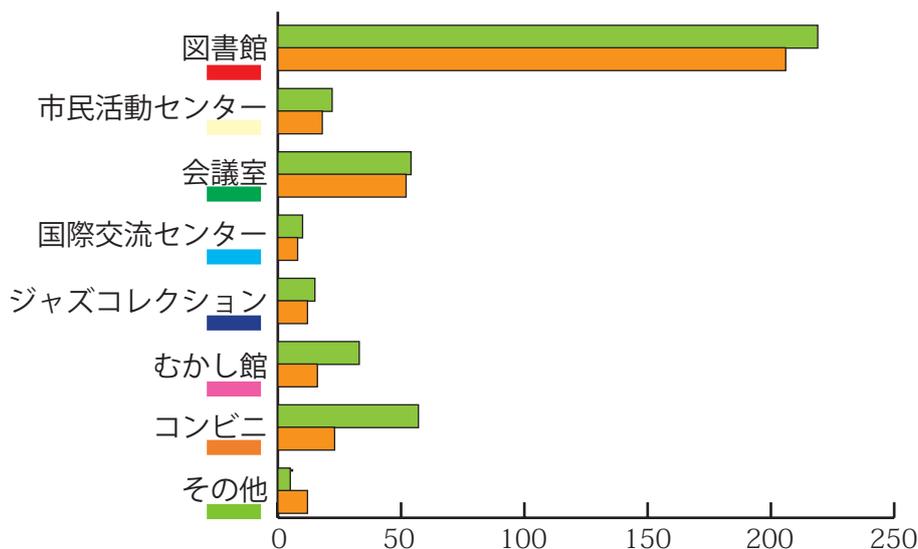
4. 上映会前に図書館に設置している関連書籍の展示について伺います。



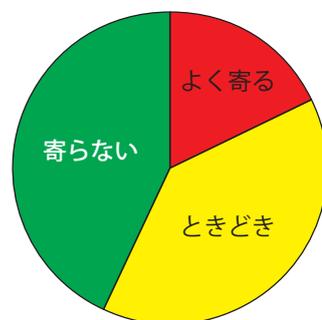
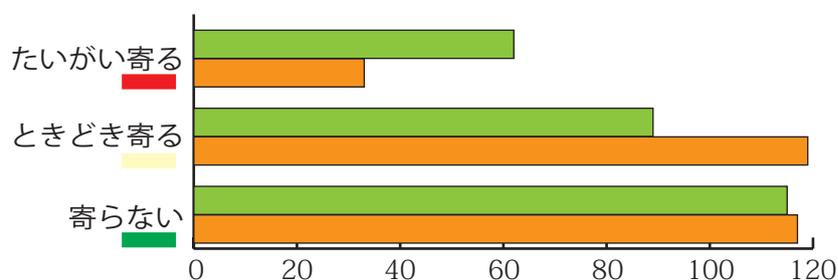
5. 上映前に「非常時対応」のアナウンスを行ったことがあります。



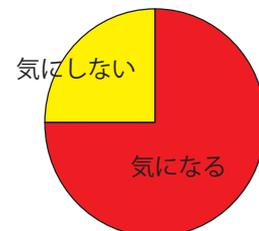
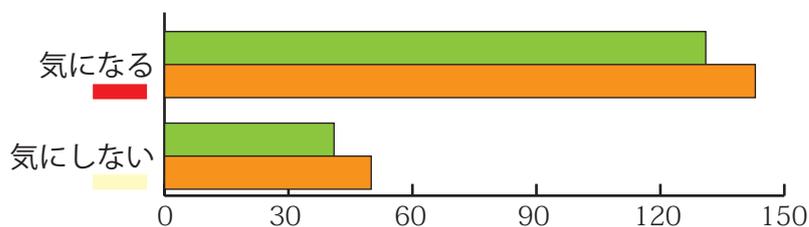
6. 映画の上映会以外でよく利用しているりぶら内の場所はどこですか？（複数）



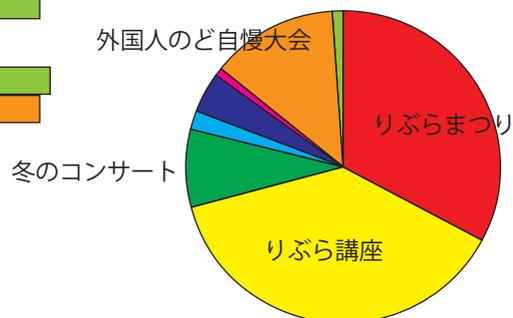
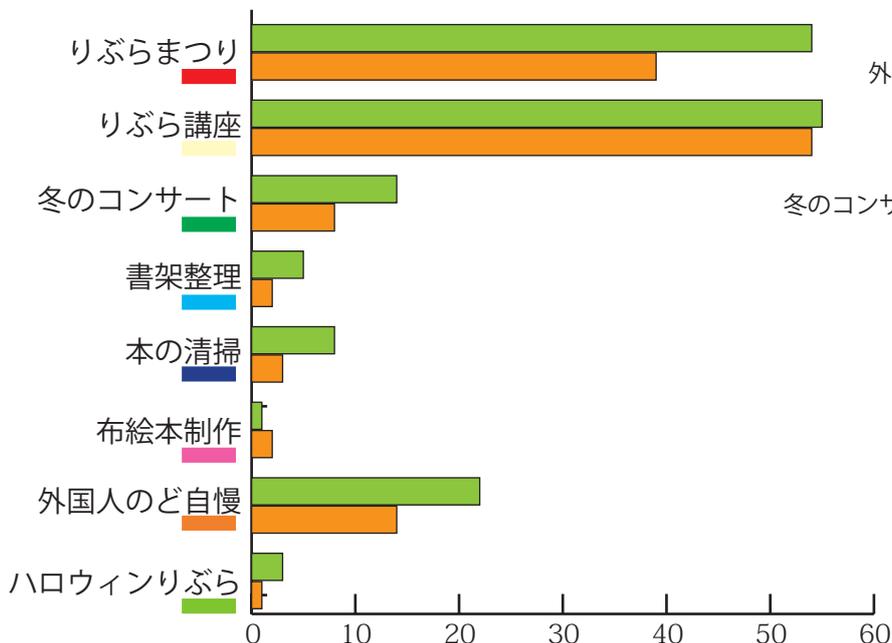
7. りぶらを利用したとき、りぶら周辺のお店などに立ち寄りませんか？



8. 駐車場をご利用の方に伺います。無料になる2時間を超えると時間が気になりますか？



9. 映画上映会以外に参加したことがあるりぶらサポータークラブの事業はどれですか？（複数）



上映会は平日の開催ということもあり、1-②のように、60代・70代の方が3/4を占めています。上映作品が、図書館の資料で、無料で上映できる作品から選ばれていることを鑑みると、需要と供給はマッチしていると言えるのではないのでしょうか。しかし、無料で上映できる作品も限られていますので、最近は図書館にはない作品の上映も開催しています。

8/24の上映作品『あん』は2015年公開で、図書館にも所蔵されていない作品でしたが、参加者数は6月の1.6倍、10代から60代までの参加者が多かったことや、「観たかった映画です」という感想が多かったこと、他市からの参加者が多かったことなど、今後の上映候補作品の参考になりました。また、4の「書籍展示」と5の「非

常時対応アナウンス」のグラフを見ると、8月の参加者は「初めて」という方が多かったということもわかります。

映画館にはあまり行かない、積極的には映画を観ないという方も、「シネマ・ド・りぶら」には来てくださるという傾向は、運営の励みになります。ただ、1-⑤が示すように、「LSC(りぶらサポータークラブ)会員」ではないという方が多く、9の他の事業への参加者も全体的に少ないのは、市民活動への参加が受動的な傾向にあることを示しているのかなと思われました。

アンケート項目は、今回集計した他にも記載式の項目がありました。記載式の項目については、今後の「コラム・ド・シネマ」の誌面に、順次掲載していきたいと思えます。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

## 私の一冊 vol.43

### 『女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと』

西原 理恵子 / 著 KADOKAWA



渡邊 あいみ(わたなべ あいみ)  
市民協働推進課活動支援係  
入庁2年目。市役所バレー  
ボール部に所属。趣味は旅行  
で、全県制覇が目標です。社  
会人3年目は、効率的な仕事  
ぶりと充実した私生活を目指  
して日々頑張ります！

この「私の一冊」のお話をいただいた時から、どんな本を紹介すればいいのか、とても悩みました。なぜなら私は、お恥ずかしながら活字本を全くといっていいほど読まないからです。何にしようかと、本好きの母の本棚を物色していた時にこの題名に思わず目が留まりました。

この本は、作者が女の子だった時から始まり、結婚し子どもが生まれ、娘の反抗期を経て巣立っていくとき、その節目ごとの作者の経験を基に、生きていく上で覚えておいたほうがいいことが書かれています。例えば、反抗期には、家族のために頑張っているお母さんが、子供からするとどうとうしい相手になり、一番身近な存在であるが故に、怒りの矛先を向けられてしまうのです。

先日、私が中学生のころに家族旅行に行った時の写真を見ていたら、私が笑っている写真は一枚もありませんでした。反抗期真っ只中だった私は、親に言われることすべてが嫌で、写真を撮ることさ

え反発していたのでしょ。今思えば、一枚くらい笑っておけばよかったのにと、当時の私に対して思いますが、反抗期には、自分でさえ自分のコントロールができなかったことを思い出しました。

本を読み進めていくうちに、私もこんな時があったなあと思えるところがたくさんあると同時に、私も、母をこんなふう困らせていたのだなと気づかされるが多々ありました。気が付けば、150ページほどある本を一気に読み終えていました。

この本を通して、両親への感謝の気持ちが湧き上がると共に、社会人2年目となり、本当の自立に向けて後押しをしてもらえたような気がしました。今日家に帰ったら「ありがとう」と言おう、そんなふうに思える心温まる本です。

何かに挑戦しようと思っている方、何かにちょっと迷っている方、ぜひ一度お手にとってみてください。人生における突破口が見つかるかもしれません。

## りぶら中央図書館情報

## \*\*\*\*\* 図書館システムが新しくなりました \*\*\*\*\*

年末年始の休館中に図書館システムの更新を行いました。  
ホームページや館内の検索機(OPAC)もより使いやすくなっていますのでぜひご利用ください。

## 【図書館ホームページ】



## 【検索機(OPAC)】



担当: 中央図書館 総務係(電話 23-3103)

## 中央図書館 1階レファレンスカウンター 「レファレンス事例集」

寒さが緩んできたら、青空市に出かけてみませんか。  
岡崎を代表する朝市、「二七市」についての事例を紹介します。



質問	二七市の歴史を知りたい。
回答	<p>【資料1】 p 322 「二七市」の項あり。</p> <p>【資料2】 p 655-657 二七市について詳しく書かれている。</p> <p>【資料3】 p 206-209 「二七市の繁盛」の項あり、昭和39年頃の写真の掲載あり。</p> <p>【資料4】 p 354 二七市についての説明あり。</p> <p>【資料5】 p 150 昭和45年の二七市の風景写真の掲載あり。</p> <p>【資料6】 p 15 昭和38年、平成18年の二七市の風景写真の掲載あり。</p>
キーワード	「岡崎の産業」「二七市」
参考資料	<p>【資料1】 『新編岡崎市史 20 総集編』 1993年 / AO233 シ</p> <p>【資料2】 『新編岡崎市史 5 現代』 1985年 / AO233 シ</p> <p>【資料3】 『図説岡崎・額田の歴史 下巻』 郷土出版社 / 1996年 / AO233 ホ</p> <p>【資料4】 『ふるさとの歴史岡崎』 子供版岡崎市史編集委員会 / 2000年 / AO233 フ</p> <p>【資料5】 『保存版 ふるさと岡崎』 郷土出版社 / 2011年 / AO233 ホ</p> <p>【資料6】 『西三河今昔写真集』 樹林舎 / 2006年 / A233 ニ</p>



## 外国人が日本語の歌を歌うのだ自慢大会 vol.8 結果発表

2月4日(日)、第8回目となる「外国人が日本語の歌を歌うのだ自慢大会」が開催されました。今回の出演者は12組14名で、昨年度の課題であった岡崎在住の外国人は増えてきましたが、出身国は3カ国のアジア系に限られました。基本的に自主的な参加申込みとなっていますので、出演者のバランスは難しい問題です。

毎回レベルの高い大会になっていて、審査員の先生方には、点数をつけがたいと言われます。今年もそんな接戦の中、決勝進出者が5組の所、急遽6組となるハプニングがありました。そして、優勝されたのはマフィル・ラガングさんでした。審査員賞にはサモサ・オブリ・ケイト・バロンさん、特別賞には大野マリアさんが選ばれました。

柏木審査委員長の講評では、マイクの使い方や、声の強弱についてのご指導も有り、今回の入賞者の皆さんの高いレベルの歌声を大変評価されていました。また、リピーターとして毎年楽しみに観賞されている方も多く、「アットホームな雰囲気、参加者の皆が楽しく歌っている姿いい」という感想をいただきました。

	出演者氏名	国籍	曲目	結果
1	クックウアンクィ	ベトナム	未来	参加賞
2	チェウアインハウ	ベトナム	レイニー ブルー	参加賞
3	趙明珠 (チョウメイジュ)	中国	アブラハムの子 妖怪体操第一	入賞
4	リビン	中国	ハナミズキ	参加賞
5	グエンタンフォン	ベトナム	ルージュ	参加賞
6	森口モニカ	フィリピン	青いダイヤモンド コーヒールンバ	入賞
7	デパス ミカエラ デパス メリーリン	フィリピン	Masayume chasing	参加賞
8	趙一青 (チョウイツセイ) 趙一鳴 (チョウイメン)	中国	極楽浄土 残酷な天使のテーゼ	入賞
9	サモサオブリケイト バロン	フィリピン	三日月 Precious	審査員賞
10	尹琴 (インチン)	中国	硝子のピアス	参加賞
11	マフィルラガング	フィリピン	I LOVE YOU きっと、また逢える	優勝
12	大野マリア	フィリピン	長い間 ごめんね	特別賞

- 【司会】大島光子 (ラジオパーソナリティー)  
 【審査員】 柏木典子 (岡崎音楽家協会代表)  
 陽呼こじま (全国詩曲音楽連盟理事・作詞家)  
 杉浦寮子 (リバーシブル編集長)  
 安藤英彦 (岡崎市社会文化部長)  
 杉浦仁美 (LSC 代表)  
 【ゲスト】 アンディカ ジャル センバダ (前年度優勝者)  
 【賞品】 優勝者賞：自転車&りぶらグッズ  
 審査員賞：ホットプレート&りぶらグッズ  
 入賞：図書券&りぶらグッズ  
 参加賞：りぶらグッズ  
 【参加者】 出演者12組(14名) ゲスト1名  
 審査員名5 司会者1名  
 LSCスタッフ&サポーター18名  
 Vivaおかざき!! 2名 国際交流部会5名  
 ボランティア5名 職員2名  
 来場者140名



↑ 優勝  
マフィル ラガングさん



← サモサオブリケイトバロンさん  
審査員賞



特別賞→  
大野マリアさん

# 歴史ロマンで岡崎・三河を盛り上げる『岡崎歴史探求班』

連載の 2

三田村千晴 : 0564-32-2560 roze31800@yahoo.co.jp

こんにちは。「岡崎歴史探求班」の班員、三田村です。

私は地元の歴史を調べるべく、岡崎市中央図書館りぶらへ通うこととなりました。りぶらには前回もお話したように、1階レファレンスライブラリーには、「家康文庫」と並び、膨大な量の「地域資料」が揃えられています。目印は、徳川家康公の花押(かおう:いまでいうサインのようなもの)が印刷された、おおきな”のれん”です。そこへ行くと、徳川家康公に関わる資料の他、岡崎市の郷土資料も自由に閲覧する事ができます。

私のように、もともと歴史に興味がなかった者が、歴史を調べようとすると大変です。普通、歴史好きな人は、個人的に好きな武将がいたり、好きな戦があったり、時代があったり、お城があったりする訳ですが、その頃の私には、そのようなものはいっさいありませんでした。ですから、地元に残されている史跡にはどういう意味があるのが、自分の目に映るコレは、いったいなんなのか、という観点から調べて行く作業となりました。

私の住まいは、岡崎市小針町です。小針町には、現在も二基の古墳が残されています。まず初めに、それは誰が埋葬されて

いるお墓なのか、と調べて行くと、大きい方の古墳の案内板には、「大友皇子(おおとものおうじ・おおとものみこ)である」と書かれているではありませんか。

「・・・ええっ!?大友皇子がここに?」と、その看板を読んだだけでも、かなり重要な手がかりを知る事ができます。というのも「皇子(おうじ・みこ)」と呼ばれるひとは、皇族、つまり、天皇の息子であるという意味があるからです。「まさかこんなところに、天皇の息子である皇子のお墓があるなんて」というわけです。皇子のお墓がこの土地に存在するということは、皇子が「この土地に関わっていた」、または「住んでいた」という証拠となります。遠い土地に住んでいた人が、いきなり見ず知らずの土地に、お墓を造ろうとは考えられないからです。

調べが進んでいくうちに、さまざまな事情から、歴史上の人物には複数のお墓が造られるという事がわかってきたのですが、そのときは「なぜ、このようなものがこの土地に?」という好奇心しかありませんでした。もし、天皇の息子である「大友皇子」が住んでいたのなら、なぜ、岡崎というこの土地を選んだのか。なぜ、都にはいられなかったのか。そして、何歳位のときに、どのような理由でこの場所に来て、何歳まで生きていたのか。さまざまな疑問が浮かんできました。小針町の近くには、「西大友町」「東大友町」という町名もありますし、「大友天神社」という神社もあります。

そして、その「大友皇子」が、第四十一代天皇「持統天皇(じとうてんのう)」の弟でもある、そうわかった時、私の好奇心は、さらに膨れ上がっていき事となりました。

←小針町の小針一号古墳  
(大友皇子の墓と伝わるもの)

『日本の歴史 2  
律令国家をめざして』→



『新編岡崎市史 1 原始・古代』	新編岡崎市史編集委員会／編集	新編岡崎市史編さん委員会 -- 1992	215.5
『岡崎の史跡石造物』	都築照元／著	岡崎市立甲山中学校現職教育委員会 -- 1977	215.5
『日本の歴史 2 律令国家をめざして』	集英社版学習まんが	集英社 -- 2016.10	210.1

Libra lon vol.48 2018/3/1 発行 2008/11/1 創刊 ◆編集・発行：りぶらサポータークラブ  
〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地 岡崎市図書館交流プラザ市民活動センター内  
TEL/0564-23-3114 FAX/0564-23-3142 携帯電話：070-5252-7263  
lsc-office@libra-sc.jp http://www.libra-sc.jp 事務局：月・火・木・金：13:30～16:30

そうだ！りぶらをサポートしよう！  
(1) 活動サポーター（登録のみ）  
(2) 賛助サポーター（年会費）2,000円  
随時、ご寄付も受け付けています。